

# 令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑤	学校名	奈良西養護学校
----	---	-----	---------

## 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「地域と共にある学校づくり」～ここにあってよかった奈良西養護学校～
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	高等部の総合的な学習の時間に位置付けて、生活・合科・しごとの授業で実施する。地域ボランティアとの協働作業をしたり、地域の幼稚園、保育園、介護老人施設との交流を行ったりすること。
連携・協働相手	富雄第三小中学校区地域教育協議会、認定こども園富雄藍咲学園、介護老人保健施設アンジェロ
地域と共有している目標・課題等	地域ボランティアを活用して、協働作業を進める。地域の各施設との交流を図ること。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>○3年「合科」の授業を通して、地域の保育園との間接交流 手遊びや「北風と太陽」「金の斧 銀の斧」の話を寸劇にしてリモートで交流をした。</p> <p>○2年「学年活動」の中で、地域の介護老人保健施設の方々との交流 リモートを活用して自己紹介をしたり、グループ別に発表（楽器演奏やダンス等）を行ったりして交流をした。</p> <p>○しごと「農場班」での地域の保育園との直接交流 生徒たちが栽培・管理したサツマイモを、園児たちが収穫体験する交流を実施した。</p>	

## 2. 事業の成果と課題

<p>3年「合科」の取組では、「北風と太陽」「金の斧 銀の斧」の話を寸劇にすることで生徒が興味をもって取り組むことができた。また、発表の際は、意欲的に活動することができ園児たちにも喜んでもらうことができた。後日、お礼の手紙を保育園まで届けることができた。2年の学年活動では、リモートを通して施設の方々と同じ時間を共有することができた。しごと「農場班」では、地域の保育園の園児たちを3年ぶりに招待し、サツマイモの収穫体験をしてもらうことができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が収束しない中での教育活動が続いている今、これらの交流活動等、地域とのかかわりをどのようにして継続していくかは今後の課題である。</p>
--



介護老人保健施設との交流



保育園との交流



保育園との交流